

保証書			
株式会社 カスタム		株式会社 カスタム	
保証規定			
本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記を保証規定により保証いたします。			
1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。			
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。			
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。			
a 不適当な取扱い、使用による故障			
b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障			
c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障			
d その他当社の責任とみなされない故障			
型番	HI-301	ロハ番号	
保証期間	年 月 日より1ヵ年		
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		
	販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。		

株式会社 カスタム	
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12	
TEL (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137	
http://www.kk-custom.co.jp/	

120402

3.特長

- ①現在時刻、温度、湿度と熱中症(WBGT)指数を同時表示することができます。
- ②本器は、熱中症(WBGT)指数を数値と併せ「危険」、「嚴重警戒」、「警戒」、「注意」の4つのメーターで表示するので、誰でもわかりやすく熱中症の危険度を知ることができます。熱中症(WBGT)指数については、「6.熱中症(WBGT)指数とは」をご覧ください。また、本器は気温と湿度より簡易的に熱中症(WBGT)指数を算出しております。
- ③温度と湿度は製品本体の中に入っているセンサーで測定できます。本器は温度、湿度と熱中症(WBGT)指数の3つの測定と共に最高(MAX)と最低(MIN)を自動的にメモリすることができ、各々を呼出し表示することが可能です。

4.使用方法

- ①本器を測定を行う環境に設置して、表示が安定したところで数値を読み取ります。
- ②最大値/最小値メモリ

本器は温度、湿度と熱中症(WBGT)指数のそれぞれの最高値、最低値を自動的にメモリします。

 - ①測定モード中に"最大値/最小値"ボタンを押す毎に表示部は下記のように切り替わります。

測定モード→最大値(MAX)表示→最小値(MIN)表示
↓

- ②上記のデータをクリアするには、それぞれの画面を呼び出してから"クリア"ボタンを押してください。"—"—が表示されそれぞれのメモリはクリアされます。

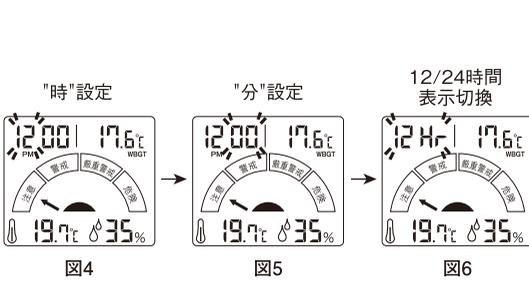
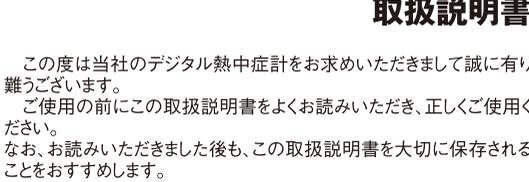
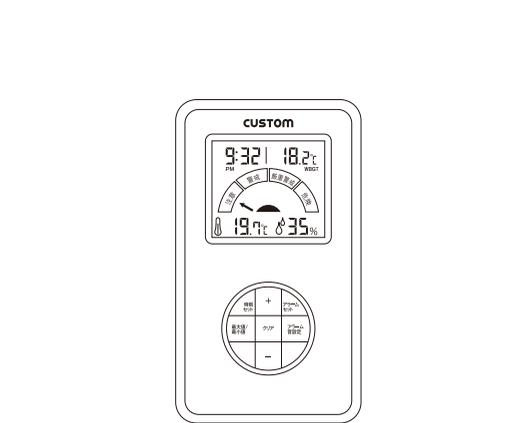
- ③現在時刻の設定方法

"時刻セット"ボタンを3秒以上押してください。図4が表示され現在時刻の"時"が点滅します。また、このボタンを押す毎に表示部は下記のように切り替わり、それぞれの箇所が点滅します。

CUSTOM

デジタル熱中症計

HI-301



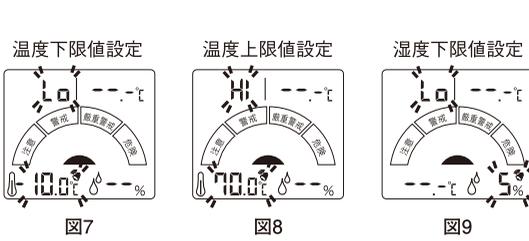
- それぞれの画面で設定を変更するには"+"または"ー"を押してください。また、これらのボタンは長押しすることで数値を早送りできます。図6まで設定が終わりましたら最後に"時刻セット"ボタンを押して通常測定画面に戻ってください。

- ④上下限アラームの設定方法

"アラームセット"ボタンを3秒以上押してください。図7が表示され"Lo"と温度表示部が点滅します。また、このボタンを押す毎に表示部は下記のように切り替わります。

画面のそれぞれの表示は下記の意味になります。

"Lo"：下限値
"Hi"：上限値
"—"：温度
"—"：湿度
"WBGT"：熱中症指数



安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくために、以下の事項をお守りください。

本文内の△危険は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。また、△警告は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

- △危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなどマイクロ波加熱炉での温度測定は絶対に行わないでください。

- △危険

使用済みの電池は直ちに破棄してください。また、電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

- 備考

冬期間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

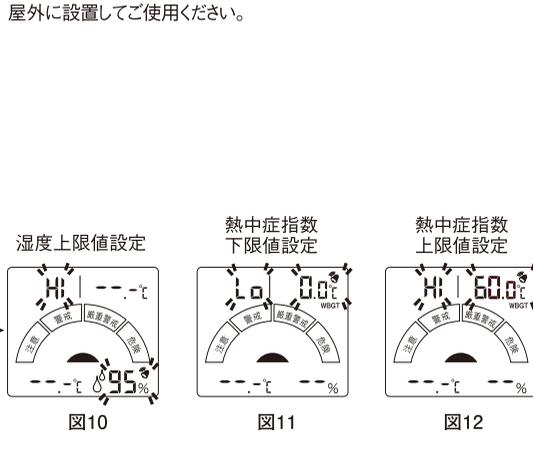
- △警告

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

- △警告

本器は熱中症の発症を完全に防止できる製品ではありません。熱中症の発症は、周囲環境の温度・湿度・輻射熱等の影響や、個人の年齢・性別・健康状態、その時の活動状況(運動や労働状況等)など、様々な要因に影響されます。ご使用いただく際には、これらの特性を良くご理解いただいた上で、あくまでも目安としてご使用ください。本器の特性を有効に発揮させるために、直射日光が当たらない室内・屋外に設置してご使用ください。

取扱説明書



- それぞれの画面で設定を変更するには"+"または"ー"を押してください。また、これらのボタンは長押しすることで数値を早送りできます。

- ⑤アラーム機能の設定方法

アラーム機能を働かせるためには、各アラームを設定してから"アラーム音設定"ボタンを押してください。表示部のアラームマークが点灯します。温度、湿度、WBGT指数がそれぞれ設定した値になるとアラームが鳴ります。また、表示部の各アラームマークが点滅します。アラームは、最初1秒おきに"ピッ"と10秒間鳴り、その後、10秒おきに1回"ピッ"となります。アラームを設定した値から実際の値が外れると、アラームは鳴り止みます。強制的にアラームを止めたい時は、"アラーム音設定"ボタンを押してください。表示部のアラームマークが消灯します。



- ⑥"リセットボタン"

このスイッチを押すと全てのデータが消去され、初期化されます。

- 防水について

本器は、防水構造ではありません。屋外での測定時の雨、雪などの天候のとき、あるいは、プールや厨房など、水がかかりやすい場所での測定時は本器の防水には十分に注意してください。

- メンテナンス
 - △警告

不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができなくなります。

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に浸して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全な布は使わないでください。

アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は、絶対に使用しないでください。

1.仕様

測定範囲	温度:0～+40℃ 湿度:20～90%RH、Lo(20%RH以下)、Hi(90%RH以上)
アラーム設定可能範囲	温度:－50～+70℃ 湿度:0～99%RH 熱中症(WBGT)指数:－50～+70℃ (使用温湿度範囲内で設定ください)
分解能	温度:0.1℃、湿度:1%RH
測定確度	温度:・0～+40℃:±1℃、 湿度(25℃にて)・ 40～70%RH:±5%RH、左記以外:±10%RH
サンプリング	4～16秒/1回
熱中症(WBGT)指数メーター表示	「危険」(31℃以上) 「嚴重警戒」(28℃～31℃) 「警戒」(25℃～28℃) 「注意」(25℃未満)
オーバーレンジ表示	「Hi」または「Lo」表示
使用温湿度	0～+40℃、80%RH以下(但し結露のないこと)
保存温湿度	－10℃～+60℃、80%RH以下(但し結露のないこと)
電源	単4(1.5V)電池 2個※
寸法・重量	W72×H121×D23mm、約95g(電池を含む)
付属品	取扱説明書

※本器に内蔵の電池は出荷時動作確認用です。初めにご使用いただく際には、必ず新しい電池と交換してください。

5.電池の交換

表示がうすくなったり、表示が出なくなった場合は次の手順で電池を交換してください。

- ①本体の裏の電池ぶたのノブを下に押し手前に引いて外してください。
- ②電池ボックス内に示されている極性表示通りに、単4電池(1.5V)2本を装填してください。
- ③電池蓋を元に戻してください。

6.熱中症(WBGT)指数とは

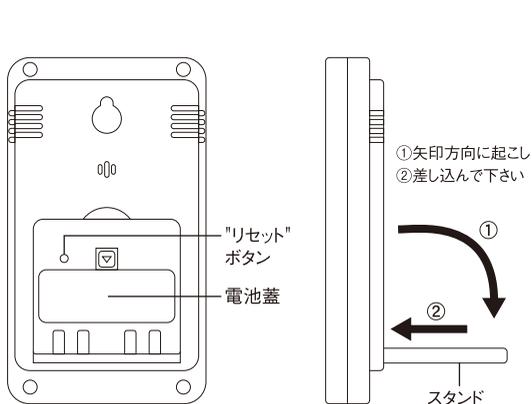
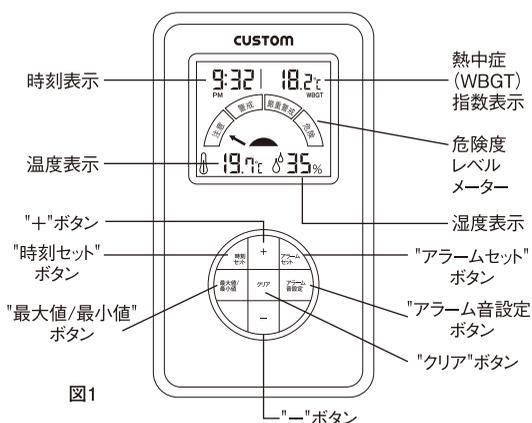
熱中症はスポーツ活動ばかりではなく日常生活や職場でも発生します。WBGT(Wet-bulb globe temperature、湿球黒球温度)を「温度基準」とした熱中症予防指針では、その温度レベルによって「危険」(31℃以上)、「嚴重警戒」(28～31℃)、「警戒」(25～28℃)、「注意」(25℃未満)の4段階に分けられています。このWBGTを求めるには、黒球温度計を用いるのが一般的ですが、本器では内蔵の温湿度計からこのWBGT基準を簡易的に算出、表示しています。

6-1.日常生活における熱中症予防指針

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険(31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒(28℃～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒(25℃～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意(25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(ここでのWBGTはその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものです)(28～31℃は28℃以上31℃未満の意味)

2.各部の名称



- 6-2.注意すべき生活活動強度の目安

各温度基準域における注意すべき生活活動強度の目安を表1に示す。軽い活動強度は3.0METs未満、中等度の活動強度は3.0～6.5 METs、強い活動強度は6.5METs以上に相当する。以上のように生活活動強度を強度別に区分したが、熱中症の発生は作業強度だけでなく、作業時間によっても大きく影響される。したがって、運動や労作をする場合、軽い活動強度であっても、定期的に休息を取り入れ、水分を補給する必要がある。

表1 注意すべき生活活動強度の目安		
軽い	中等度	強い
3.0 METs 未満	3.0～6.5 METs	6.5 METs 以上
休息・談話	自転車 16km/時 未満	ジョギング
食事・身の回り	速歩 95～100m/分	サッカー
楽器演奏	掃除(はく・ふく)	テニス
裁縫(縫い・ミシンかけ)	布団あげおろし	自転車 約20km/時
自動車運転	体操(強め)	リズム体操
机上事務	階段昇降	エアロビクス
乗物(電車・バス立位)	床磨き	卓球
洗濯	垣根の刈り込み	バドミントン
手洗い、洗顔、歯磨き	庭の草むしり	登山
炊事(料理・かたづけ)	芝刈り	剣道
買い物	ウォーキング 107m/分	水泳
掃除(電気掃除機)	美容体操	バスケットボール
普通歩行 67m/分	ジャズダンス	縄跳び
入浴	ゴルフ*	ランニング 134m/分
ストレッチング	野球*	マラソン
ゲートボール*		

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。●METs(Metabolic equivalent):代謝当量と呼ばれ、活動に要したエネルギー量の安静時代謝量に対する比率を表わす。